

Economic Indicators

発表日: 2023年9月15日(金)

主要経済指標予定(2023年9月18日~9月22日)

(株)第一生命経済研究所 経済調査部
日本経済短期チーム (TEL: 03-5221-4525)

(9月18日~9月22日の主なイベント、指標予定)

	指標名	当社予測	市場予測	市場予測レンジ	前回結果
9月18日 (月)					
9月19日 (火)					
9月20日 (水)	8:50 8月貿易統計				
	輸出金額(前年比)	+5.5%	—	—	▲0.3%
	輸入金額(前年比)	▲18.0%	—	—	▲13.6%
	貿易収支(原数値、億円)	▲3,939	▲6,431	▲17,108~▲304	▲663
	8:50 4-6月期資金循環統計				
9月20日 (水)	14:00 8月コンビニエンスストア統計				
	既存店ベース売上高(前年比)	—	—	—	+5.1%
9月21日 (木)	金融政策決定会合(~22日)				
9月22日 (金)	8:30 8月消費者物価指数(全国)				
	全国総合(前年比)	+3.2%	+3.0%	+3.0%~+3.2%	+3.3%
	全国コア(前年比)	+3.1%	+3.0%	+2.9%~+3.1%	+3.1%

(注) 市場予測・レンジは Bloomberg、日経 QUICK 調査をベースに作成



8月貿易統計・貿易収支額（原数値） 当社予想：▲3,939億円 中央値：▲6,431億円

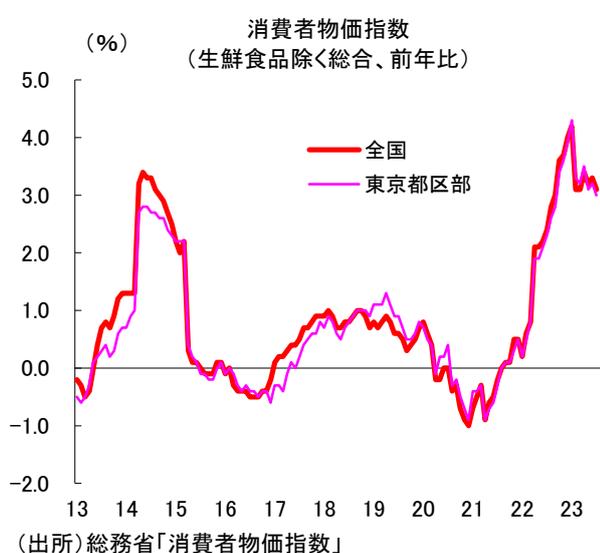
8月の貿易収支を▲1,655億の赤字（季節調整値）と予想する。輸入物価の下落を背景に貿易赤字の縮小が進むだろう。物価の変動を除いた実質輸出は、供給制約の緩和により持ち直している自動車が牽引していることで下げ止まりの兆しがみられるも、これまでの反動から単月では減少に転じる可能性が高い。当面は世界経済の財需要の減速により下押し圧力は強い状況が続くだろう。8月は、中国向け半導体製造装置の輸出規制等の影響がどの程度現れるかにも注目である。

（副主任エコノミスト：大柴 千智）

8月全国消費者物価指数（生鮮食品除く総合） 当社予想：前年比+3.1% 中央値：同+3.0%

CPI コアは前年比+3.1%と前月から伸びは変わらないと予想する。燃料価格下落の影響が遅れて顕在化していることや前年の裏の影響から、電気代・ガス代のマイナス寄与が大きく拡大する一方、ガソリン、灯油価格が上昇することが押し上げ要因になる。また、エネルギー以外のコアコアについては高止まりが予想され、物価上昇圧力の根強さを示す結果となるだろう。

（シニアエグゼクティブエコノミスト：新家 義貴）

図表1

図表2


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。